

令和元年度 市民公開・農学特別講演会 「農と食が創る持続的な社会」を開催

【概要】

北海道大学大学院農学研究院では、9月27日（金）に北海道大学ホームカミングデーの一環として、市民公開・農学特別講演会「農と食が創る持続的な社会」を以下のとおり開催します。

- 【日 程】** 令和元年9月27日（金） 13：00～14：50
- 【場 所】** 北海道大学農学部4階大講堂（札幌市北区北9条西9丁目）
札幌駅北口から徒歩15分
- 【主 催】** 北海道大学大学院農学研究院・農学院・農学部，札幌農林学会，札幌農学同窓会
- 【対 象】** 一般市民
- 【募集人数】** 100人
- 【参加費】** 無料
- 【言 語】** 日本語
- 【申込方法】** 事前申込不要
- 【プログラム】** 13：10～14：00 講演1「今さらカイコ?!ーカイコの恵みー」
北海道大学大学院農学研究院 教授 伴戸久徳
- 14：00～14：50 講演2「土地を「困り込む」ことー農耕と牧畜のせめぎあいー」
北海道大学大学院農学研究院 特任教授 坂下明彦

お問い合わせ先

北海道大学農学・食資源学事務部庶務担当

T E L 011-706-2420 メール shomu@agr.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.agr.hokudai.ac.jp/event/5346>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

講演
1

13:10~14:00
今さらカイコ?!

—カイコの恵み—

大学院農学研究院 教授 伴戸 久徳

かつて、生糸は、日本の主要輸出品として日本の近代化に大きく貢献しましたが、近代産業の隆盛に伴い、日本の蚕糸業は衰退の一途を辿りました。ところが、近年、カイコは生産昆虫として新たな地位を築きつつあります。



講演
2

14:00~14:50
土地を「囲い込む」こと

—農耕と牧畜のせめぎあい—

大学院農学研究院 特任教授 坂下 明彦

灌漑稲作を除くとユーラシア大陸では、農耕と牧畜が反発し、あるいは融合して土地の利用体系がつくられています。その境界に「囲み」、柵があります。大きくは万里の長城、小さくは菜園の柵まで、物から考える農業経済学。

会場